

「ふるさとの学び特別賞」

学校名	越前町立萩野小学校	校長名	加藤 留美
住 所	福井県丹生郡越前町細野73-23		

1. 推薦理由

地産地消について学んだことと地域の課題を結びつけ、地域の活性化を願って地元越前町と福井県産の食材を使ったラーメンづくりに取り組んだ。この活動は、地域の課題解決への意欲を高めるとともに地元への愛着を深めることにつながった。したがって、推薦に値すると考える。

2. 活動内容 テーマ「萩野食堂 究極ラーメン」

第6学年の児童10名が、総合的な学習の時間に行っている「ふるさと学習」で「地産地消」の大切さについて学んだ。また、地域が抱える課題の一つに「人口減少と高齢化」があることを知った。そして、児童たちから、地域活性化の願いを込めて、地元越前町や福井県産の食材を使ったラーメンづくりをしてみたいとの提案が上がった。

まず、ラーメンづくりにどのような食材が必要かを考え、食材の調達先を栄養教諭とリモートで話し合いながら教わった。また、インターネットで調べたり地域のお店に問い合わせたりしてできるだけ福井県産の食材でまかなおうと、こだわりを持ちながら活動した。そして、越前町宮崎地区産のタケノコをはじめ、福井県産「いちほまれ」を使った米粉麺や越前市の豚肉、福井県産の野菜をそろえることができた。

調理当日は、メンマやチャーシューも自分たちで一から作り、自分たちの考える「究極のラーメン」づくりに、楽しく真剣に取り組んだ。試食後は、どの児童も地元食材のおいしさを実感しふるさとへの愛着を深めていた。また、このラーメンは越前町の給食メニューとしても採用が検討されている。萩野小学校は、3年後に統廃合される予定だが、もし実現すれば給食メニューの中に「萩野」の名前が残ることとなり、地域活性化に一役買えるのではないかと考える。

3. 年間活動実績（12月以降の予定を含む）

- ・ふるさとをテーマに、自分たちが挑戦したいことを話し合う（4月）
- ・「食についてのプロジェクト」のプレゼン資料作成と発表（5月・6月）
- ・食材の選び方と調達先について栄養教諭とリモートで話し合う（7月）
- ・ラーメンづくりのためのレシピと計画表の作成（10月、11月）
- ・宣伝用パンフレット作成予定（1月以降）

4. 提出書類リスト

- ・令和4年11月29日（火）の学習の様子の写真
- ・令和4年11月30日（水）の福井新聞の記事